

腰を据える

【新改訳改訂3】使 18:11 そこでパウロは、一年半ここに腰を据えて、彼らの間で神のことばを教え続けた。

Greek; καθίζω カスイゾー 46回。

Ἐκάθισεν δὲ ἐνιαυτὸν καὶ μῆνας ἕξ διδάσκων ἐν αὐτοῖς τὸν λόγον τοῦ θεοῦ.

アオリスト

Hebrew; 「ヤーシャヴ」(יָשַׁב) 「住む」「とどまる」 dwell

Ps 27:4/65:8/84:4/91:1/98:7/132:14/140:13

●本来は「座る、とどまる」という意味。そこから「腰を据える」という意味で、ある特定の場所で、落ち着いてじっくりと物事に取り組むことを意味します。特に神のことばに携わる者は、この**専心性**が求められます。

●主にとどまり、主のことばにとどまり、主の愛の中にとどまるなら、多くの実を結びます(ヨハネ 15 章)。

「とどまる」はいずれもギリシア語の「メノー」の現在形で「とどまり続ける」の意。「とどまる」は「メノー」(μένω)、英語では、abide, remain, dwell, continue

●「とどまる」(μένω)は、きわめて深い関係性を表わす語彙です。旧約聖書でこの関係性を表わしている箇所を挙げるとすれば、詩篇 15 篇 1 節と詩篇 91 篇 1 節です。いずれも、同義的パラレリズムで記されています。

(1) 【新改訳改訂第3版】詩篇 15 篇 1 節

【主】よ。だれが、あなたの幕屋に宿る(「グール」גֹּוּר)のでしょうか。だれが、あなたの聖なる山に住む(「シャーハン」יָשַׁב)のでしょうか。

(2) 【新改訳改訂第3版】詩篇 91 篇 1 節

いと高さ方の隠れ場に住む(「ヤーシャヴ」יָשַׁב)者は、全能者の陰に宿る(「リーン」לִיָּן)。

●順に、「宿る」(「グール」)、**「住む」**(「シャーハン」)、**「住む」**(「ヤーシャヴ」)、**「宿る」**(「リーン」)。

これらはみな同義語と見なすことができます。そしてこれらヘブル語の語彙がギリシア語の「メノー」(μένω)の中に含まれていると言えます。パウロがコリントで神のことばを教える務めに専念するために、「腰を据えた」ことも同様の意味があります。